

三原のことをもっと知ってもらおう！
～ I like my town. ～ (We can! 2 Unit4)

本単元で育成する資質・能力

表現力・主体性

○ 平成30年11月16日(金) 第5校時

1 単元について

(1)教材観

本単元は、自分の住んでいる地域を題材としており、単元の最後には、ALTに向けて、三原にある施設とそのよさについて紹介するという活動を設定している。町にある施設の言い方について学び、“I like ~.” “I enjoy ~.”などの表現を使い、それぞれの施設のよさやそれらによって受ける恩恵について表現できるようにすることをねらいとしている。自分が住んでいる地域に目を向けさせ、外国から来た人に喜んでもらえるような施設はどこか、また、そこにどのようなよさがあるのかについて考えさせていく。自分が住んでいる地域のよさを再発見させたり、地域に対する愛着を深めさせたりすることができる単元であると考え。

(2)児童観

本学級の児童は、第5学年時に年間35時間の外国語活動の授業を受けている。今年度は、外国語活動を年間70時間設定し、1週間に2時間程度の授業を実施している。本単元を実施するにあたり事前調査を行ったところ、次のような結果になった。

調査項目	結果
①外国語活動の授業に進んで参加しています。	22/23(95.7%)
②外国語活動の授業では、英語を使う場面を考えながら活動しています。	20/23(87.0%)
③外国語活動の授業では、日本と外国のくらしや習慣、文化などのちがいを知ることができます。	22/23(95.7%)
④相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。	23/23(100%)
⑤相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。	23/23(100%)
⑥英語でやり取りをする時には、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事したりしています。	21/23(91.3%)
⑦英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。	20/23(87.0%)
⑧英語でやり取りや発表をする時には、自分の考えや気持ちなどを伝えていきます。	19/23(82.6%)
⑨英語の文字(アルファベット)を読むことができます。	20/23(87.0%)
⑩英語を読む時には、単語や表現の意味を考えながら読んでいます。	21/23(91.3%)
⑪英語を書く時には、単語の間を空けるなど、英語の書き方のきまりを守って書いています。	22/23(95.7%)
⑫英語を書く時には、単語をならべる順番を考えながら書いています。	22/23(95.7%)

本学級の児童は、「①外国語活動の授業に進んで参加しています。」の質問に対して95.7%の児童が

肯定的に答えており、日々の授業において前向きに取り組んでいる姿が日常的に見られる。「④相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、どのイラストや写真のことを話しているか分かります。」や「⑤相手が英語でゆっくりはっきりと話していれば、だいたいの内容が分かります。」のいずれの項目においても肯定的評価が100%であり、児童の「聞くこと」に対する自信が向上していることが伺える。また、「⑦英語でやり取りをする時には、会話が続くように、知っている表現を使うようにしています。」における肯定的評価は87%であったが、6月に行った調査と比較したところ、4.4%上昇している。「話すこと」においても、既習表現の中からその場にふさわしい表現を選択し、使おうとする意識が向上してきたことが言える。「⑨英語の文を字（アルファベット）を読むことができます。」においては、3名の児童が「あまりあてはまらない」を選択している。アルファベットの名称を聞いて、その文字を選んだり、文字を見てその名称を発音したりする活動を継続して授業の中に位置づけ、定着を図っていく。

(3) 指導観

単元の初めに、ALT から「三原の事をまだよく知らないので、おすすめの場所を教えてください。」という依頼をする。単元末で行う ALT に向けた発表のイメージを持たせるために、教師が自分の住んでいる地域にある施設とそのよさについて紹介し、モデルを示す。児童に、「自分もやってみたい。」「自分だったら、あそこを紹介したい！」などという思いを持たせた上で、三原にある様々な施設や場所について出し合わせる。その際、施設の言い方について取上げたり、“We have ~.” “We don't have ~.” を使った表現の導入を図ったりする。そして、自分が紹介したい三原にある施設とそのよさについて、キーワードカードに記入させておき、それを基にやり取りや書く活動につなげ、本単元で扱う表現に慣れ親しませていく。さらに、これらの活動を通して音声で十分に慣れ親しませた、三原にある施設とそのよさについての表現について、例文を参考にさせながら、ポスターにまとめさせていく。その際、作成したポスターを基に、ALT に向けて発表するという目的意識を持たせた上で書く活動に取り組ませていく。書くことの活動においては、単語を詰めて書く、単語と単語の間にスペースを置く、四線上に書く際のアルファベットの位置と高さに気を付ける、文末にピリオドを置くなどの基本的な事項についても、その活動の中で指導していく。

2 単元の目標

- 他者に配慮しながら、進んで三原の町について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとする
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- 地域にある施設とそのよさについて表す表現に慣れ親しむ。
【外国語への慣れ親しみ】
- 地域のよさについて簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例文を参考に書いたりすることに慣れ親しむ。
【外国語への慣れ親しみ】
- 英語の書き方の規則に気付く。
【言語や文化に関する気づき】

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気づき
①他者に配慮しながら、進んで三原の町について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。	①地域にある施設とそのよさについて表す表現に慣れ親しんでいる。 ②地域のよさについて簡単な語	①英語の書き方の規則に気付いている。

	句や基本的な表現でやり取りした表現を、例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。	
--	---	--

4 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	A L Tに、三原にある施設とそのよさについて伝えるために、ポスターを作って紹介する。
目指す発話例 (話すこと：やり取り)	A: Mihara is wonderful. B: Why? A: We have Kajitsu no mori koen. You can eat many fruits. B: That's nice. What else? A: We have Hakuryuko sports village. You can see cherry blossoms. B: Sounds great!
目指す指導の姿 (書くこと)	Mihara is wonderful. We have Kajitsu no mori koen. You can eat many fruits. We have Hakuryuko sports village. You can see many cherry blossoms.

5 言語材料(下線は新出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>We have / don't have (a park).</u> <u>We can see / eat / buy ~.</u> <u>We can enjoy (cycling).</u> <u>Mihara is (wonderful / nice / beautiful / exciting / great).</u>	town, 施設・建物(amusement park, aquarium, swimming pool, stadium), nature, 動作 (fishing, dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking)

6 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校で育成しようとしている資質・能力は以下の5点である。

- ①思考力 ②表現力 ③主体性 ④自分と他者を尊重する心 ⑤知識・理解

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力について、つぎの2点に重点を置く。

②表現力

目的・場面・状況を考え、既習事項から表現を選んで使うことを通して、三原にある施設とそのよさについて、自分の思いや考えを話したり書いたりすることができる。

③主体性

これまでに学習した表現や新たに学んだ表現を用いて、三原にある施設とそのよさなどについて、尋ねたり答えたりする活動を行っていく中で、英語で自分の思いを伝える楽しさを実感し、進んで英語を使うことができる。

7 指導と評価の計画

(全5時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○) 【 】 = 誌面化されている活動	評価規準 評価方法	表現例
1	<p>課題の設定 情報の収集</p> <p>◆三原にはどのような施設があるか、ないかについてやり取りする。</p> <p>○Small Talk「自分の町にある施設とそのよさ」 教師の住む町のよさについて聞き、単元のゴールイメージを持つ。</p> <p>○【Let's Listen1】 自分の住む地域について説明している音声を聞いて、誌面にある絵の中から当てはまるものを選ぶ。</p> <p>○Let's Talk「三原にある施設、無い施設」</p>	<p>【コ】他者に配慮しながら、進んで三原の町について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。《行動観察・振り返りカード》</p>	<p>I like my town. <u>We have ~.</u> <u>We don't have ~.</u></p>
2	<p>情報の収集</p> <p>◆三原にある施設とそのよさについて、理由を付けて言ったり聞いたりする。</p> <p>○【Let's Chant】“I like my town.”</p> <p>○【Let's Play 2】Pointing game</p> <p>○【Let's Listen3】 自分たちの住んでいる地域について話しているのを聞き、誌面に聞き取ったことを記入する。</p> <p>○Let's Talk「三原にある施設とそのよさ」</p>	<p>【慣】地域のよさや課題などについて表す表現に慣れ親しんでいる。《行動観察・振り返りカード》</p>	<p>We have ~. <u>We can see / eat / buy ~.</u> <u>We can enjoy (cycling).</u></p>
3 本 時	<p>情報の収集</p> <p>◆三原にある施設とそのよさについて伝え合ったり、例文を参考に書き写したりする。</p> <p>○Small Talk「行ってみたい都道府県」</p> <p>○Let's Talk「三原にある施設とそのよさ」</p> <p>○Let's Read and Write 音声を聞いて繰り返し言った後、ワードリストから言葉を選んで書き写す。</p>	<p>【慣】地域のよさについて簡単な語句や基本的な表現でやり取りした表現を、例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。《行動観察・ワークシート・振り返りカード》</p>	<p>We have ~. We can see / eat / buy ~. We can enjoy (cycling).</p>

4	<p>まとめ・創造・表現</p> <p>◆三原にある施設とそのよさについて、まとまりのある文を書く。</p> <p>○【Let's Chant】“I like my town.”</p> <p>○Let's Read and Write 音声を聞いて繰り返し言った後、ワードリストから言葉を選んで書き写す。</p> <p>○【Activity 2】 作成したポスターの文を参考に、どのような発表にするのか考える。</p>	<p>【気】英語の書き方の規則に気付いている。</p> <p>《行動観察・制作物・振り返りカード》</p>	<p><u>Mihara is (nice).</u></p> <p>We have ~.</p> <p>We can see / eat / buy ~.</p> <p>We can enjoy (cycling).</p>
5	<p>実行・振り返り</p> <p>◆他者に配慮しながら、三原の施設とそのよさについて、作成したポスターをもとに発表する。</p> <p>○【Activity 2】 ポスターをもとにして、ALTに向けて発表する。</p>	<p>【こ】他者に配慮しながら、進んで三原の町について、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている。《行動観察・振り返りカード》</p>	<p>Mihara is (nice).</p> <p>We have ~.</p> <p>We can see / eat / buy ~.</p> <p>We can enjoy (cycling).</p>

8 本時の指導計画

(1)目標

三原にある施設とそのよさについて伝え合ったり、例文を参考に書き写したりする。

(2)評価規準

地域のよさについて簡単な語句や基本的な表現でやり取りした表現を、例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。

【外国語への慣れ親しみ】

(3)準備物

電子黒板，絵カード，振り返りシート

(4)展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点 評価規準 教科の指導事項 (○) 資質・能力(★)(評価方法)
	T1	ALT	
<p>1 挨拶をする。</p> <p>2 Small Talk “What prefecture do you want to go?”</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ALT: How are you? How is the weather today? What day is it? What is the today's date? </div>	

<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の話を聞く。 ・ペアで伝え合う。 	<p>T1: Lorna sensei, what prefecture do you want to go? ALT: Ummm...I want to go to ~. T1: Why? ALT: Because I can ~. How about you? What prefecture do you want to go? T1: I want to go to Oita. ALT: Why? T1: Because I can enjoy onsen. ALT: I like onsen, too. That sounds nice.</p> <p>ALT: How about you? What prefecture do you want to go? (ask some students.)</p>	<p>主体性を育てるための工夫 相手の言ったことに反応する際の表現を例として示すことで、会話の流れを考え、既習表現を用いて状況に合ったやりとりを行うことができるであろう。</p>
<p>3 単元の流れを振り返り、本時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールと流れを振り返り、本時の課題を提示して学習の見通しを持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士のやり取りでは、聞き返したり、質問したりすることを通して会話が続くよう意識させる。 ・単元の流れを振り返り、本時で学習する表現が、単元末でのALTへの紹介で使えることを確認する。
<p>三原にあるおすすめの場所とそのよさについて伝え合おう。</p>		
<p>4 Demonstration T1とALTの三原にある施設とそのよさについてのやり取りを聞く。</p>	<p>T1: Mihara is wonderful. ALT: Why? T1: We have Kajitusu no mori koen. You can eat many fruits. ALT: That's nice. What else? T1: We have Hakuryuko sports village. You can see cherry blossoms. ALT: Sounds great! I want to go there.</p>	<p>思考力を深めるための工夫 自分が伝えたいことを記入したキーワードカードを活用すれば、既習表現から、伝えたい内容に合った表現を選択して使うことができるであろう。</p>
<p>5 Let's Talk 前時に作成した、キーワードカードを基に、自分の考えた三原にある施設とそのよさについてペアに伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを替えて複数回対話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習表現を積極的に使ってやり取りしている児童を肯定的に評価し、全体の場で取りあげる。 ・児童の言い間違いは指摘するのではなく、指導者が正しく言い直して聞かせることで気付かせる。 	<p>★表現力 これまでに学習した表現を用いて、英語で自分の思いを伝える楽しさを実感し、進んで英語を使うことができる。(行動観察)</p>
<p>6 Let's Read and Write 例文の音声聞いて読んだ後、なぞ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がよく使う語句をイラスト付きのワードリスト 	

・どのように言ったらいいのか困っている児童を支援する。

・良かった点について、肯定的評価をする。

<p>り書きをする。例文を参考に，ワードリストから言葉を選んで書き写す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が書いた英文を読む。 <p>7 Reflection</p>	<p>として示し，書き写す際の見本とさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時への見通しを持たせる。 		<p>○【慣】地域のよさについて簡単な語句や基本的な表現でやり取りした表現を，例文を参考に書くことに慣れ親しんでいる。(行動観察・ワークシート・振り返りカード)</p>
--	---	--	--

(5) 板書計画

天気	Thursday	November	16th	三原にあるおすすめの場所とそのよさについて伝え合おう。	反応 WORDS	
<p>絵カード (施設・場所)</p>				Mihara is ~.		
				We have (a) ~.		
				We can	see	~
					eat	
					enjoy	